平成１８年度 伊丹市行政評価　～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから５年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133105		
事務事業名	学習交流グループ育成事業	担当部局・課	教育委員会人権教育室 解放児童館
事業内容	せつよう幼稚園、ひかり保育園の保護者を対象とした幼児グループ、笹原小、笹原中、摂陽小、解放児童館の保護者、共同会館職員を対象とした体力作りグループ、地域の女性や子どもが義務教育を終えた女性を対象とした創作グループの3つのグループで交流をとおして、同和学習を行う。　全体会2回、　合同同和学習会1回、各グループ3回程度実施。	事業開始(予定)年度	昭和57年度
		事業終了(予定)年度	平成18年度

この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点：支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
		項目：きめ細かな地域福祉の推進
		施策：人権啓発活動、交流活動の推進

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

事業の目的	地域内外の住民が、出会いとふれあいを大切にした活動を進めることで同和学習を行い、人権が大切にされる地域づくりをめざす。	予算費目（複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款）教育費 （項）教育総務費　（事項）学童保育事業費 （目）解放児童館費

事業費等の概算

	平成17年度（決算）			平成18年度（予算）		
事業費	101千円	財源内訳		116千円	財源内訳	
		国・県補助金等	－		国・県補助金等	－
		市　債	－		市　債	－
		その他（使用料等）	－		その他（使用料等）	－
		一般財源（市税等）	101千円		一般財源（市税等）	116千円
投入人員	1.00人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		0.80人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
人件費	8,566千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		6,853千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	8,667千円			6,969千円		

活動指標

指標名（単位）	開催回数（回）	
意味・算式等	事業目的を達成するため、開催日数をもって活動指標とする。	

計画と実績

区分＼年度	H17年度	H18年度
計画値	13	13
実績値	14	